

J & S / さすらいの逃亡者 (1972)

LA BANDA J&S: CRONACA CRIMINALE DEL FAR-WEST
DIE ROTE SONNE DER RACHE [独]
SONNY AND JED [米]
THE J&S BAND: FAR WEST STORY
HIJOS DEL DIA Y DE LA NOCHE
J&S: CRIMINAL STORY OF AN OUTLAW COUPLE

メディア 映画

ジャンル 西部劇 ロマン스 犯罪

製作国 イタリア/スペイン/西ドイツ

色彩 Color

時間 91分

初公開日 1995/04/15

公開情報 P S C = ケイブルホーグ

【解説】

お尋ね者ジェド・トリガード (T・ミリアン) と、アウトローに憧れジェドを追い回す少女サニー (S・ジョージ)。そして彼らを執拗に狙う保安官フランシスカス (T・サヴァラス)。まるで西部の“ボニー&クライド”のようなジェドとサニーだが、その二人の関係が実にユニーク。サニーを犬のように扱う暴力的なジェド (スパゲティの喰いっぷりも汚いぞ) と、どんな事をされても何故かジェドから離れようとしめないサニー。この二人がある夜、一線を越えて夫婦となるのだが、それ以降のコンビ強盗ぶりも面白い。コルブッチの手腕はコミカルなタッチにも充分発揮されているが、やはり、男と女の名状しがたい感情の触れ合いを描きあげるのがうまい。そしてそれは、T・ミリアンとS・ジョージの類まれなキャラクターに負うところも大きい。二人の隠れた代表作と言ってもよいだろう。「ミツバチのささやき」のクアドラドによる少し寂寥感を帯びた画面と、ユーモラスながら切々と心に響くモリコーネのスコア、どちらも素晴らしい。逸品のマカロニ・ウェスタン、である。

【クレジット】

監督	セルジオ・コルブッチ	Sergio Corbucci	
製作	ロベルト・ロヨラ	Roberto Loyola	
原案	サバティーノ・チュフィーニ	Sabatino Ciuffini	
	マリオ・アメンドラ	Mario Amendola	
	セルジオ・コルブッチ	Sergio Corbucci	
脚本	セルジオ・コルブッチ	Sergio Corbucci	
	マリオ・アメンドラ	Mario Amendola	
	アドリアーノ・ボルツォーニ	Adriano Bolzoni	
	ホセ・マリア・フォルケ	Jose Maria Forqu	
撮影	ルイス・クアドラド	Luis Cuadrado	
	アレハンドロ・ウジョア	Alejandro Ulloa	
美術	ピエロ・フィリッポネ	Piero Filippone	
編集	エウヘニオ・アラビソ	Eugenio Alabiso	
音楽	エンニオ・モリコーネ	Ennio Morricone	
出演	トーマス・ミリアン	Tomas Milian	ジェド
	スーザン・ジョージ	Susan George	サニー

テリー・サヴァラス	Telly Savalas	フランシスカス
ロザンナ・ヤンニ	Rosanna Yanni	リンダ・モレノ
ラウラ・ベッティ	Laura Betti	マルゲリータ
エドゥアルド・ファヤルド	Eduardo Fajardo	ガルシア
フランコ・ジャコビニ	Franco Giacobini	アパラシト
ハーバート・フックス	Herbert Fux	メリル
ウェルナー・ポチャス	Werner Pochath	
ダン・ヴァン・ハッセン	Dan van Husen	